DeLonghi
Living innovation

取扱説明書

この度は、デロンギ マイカパネルヒーターをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
お求めの製品を正しく安全に使用していただくため、ご使用の前に、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。
また、お読みの後は、保証書と共に大切に保管してください。

デロンギ マイカパネルヒーター

型式番号

HMP900J

※本体の型式番号「HMP900J」の後に続くハイフンおよびアルファベットは、色番号を表すものです。

- 900W/450W
- 転倒時自動電源遮断装置付

家庭用

Made in China

目次

安全上のご注意……1〜5
知っておいていただきたいこと……6
キャスターの取り付け方……6
各部の名称とはたらき……7
操作手順……8
ヒーターの上手な使い方……9
お手入れ／保管のしかた……9
これは故障ではありません……10
デロンギ・エコカバーの使い方 10
故障かな？……11〜12
まごころ点検について……13
アフターサービス……13
仕様……14

HMP900J の特長

●即暖型ヒーター
電源を入れるとすぐに暖房が始まる ── 即暖型のヒーターです。

●マイカパネル採用
絶縁体にマイカを採用しています。パネルは赤く光りませんので、就寝時などに気になることはありません。

●軽量薄型モデル
重さわずか 4.6kg、幅 69.5cm、奥行 26.5cm、高さ 56.5cm の省スペース設計です。

●安全設計
・温度過昇防止装置が内蔵されています。
・万一転倒しても、自動的に電源が切れますので、安全です。

★キャスターの取り付け方(6 ページ)をお読みのうえ、キャスターをヒーター本体の底面両端に取り付けて下さい。

安全上のご注意　各注意事項を、必ずお守りください。

1. ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
2. ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への損害を未然に防止するものです。
3. 注意事項は、誤った取り扱いで生じることが想定される内容を、その危害や損害および切迫の度合いにより、「危険」「警告」「注意」の３つに分け、明示しています。

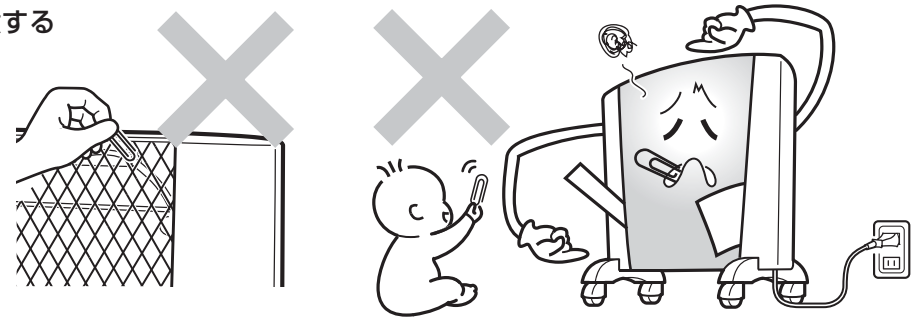
⚠危険	⚠警告	⚠注意
この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して想定される」内容です。	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

4. 各注意事項には、「禁止」または「強制」を促す絵表示が付いています。

この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。	この絵表示は必ず実行していただく「強制」内容です。
：禁止　：接触禁止　：水ぬれ禁止 ：分解禁止　：ぬれ手禁止　：風呂・シャワー室での使用禁止 ：覆い被せ禁止	：指示を守る ：電源プラグを抜く

⚠危険

穴、すき間、開口部に指やピン・針金などを差し込まない。
特に子供のいたずらに注意する
感電やケガをすることがあります。

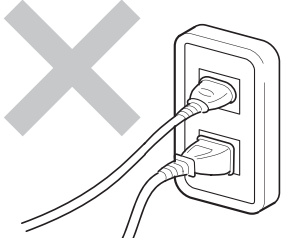


⚠警告

【電源／コンセントについて】

電源は交流100V（50/60Hz）で「15A 125V」と記されている壁面のコンセントに直接差し込む
他の機器と併用すると、発熱による火災の原因になります。

コンセントは本製品だけ（単独）で使用する
コンセントの差込み口が２つある場合は片方の差込み口を使用しないでください。

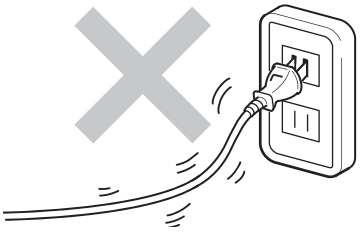


警告

【電源／コンセントについて】

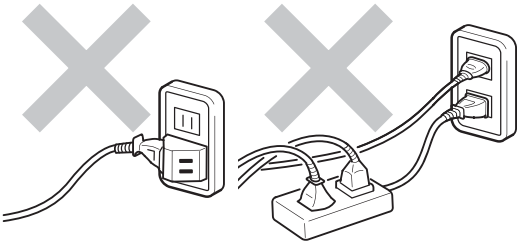
取付けの悪いコンセントは絶対に使わない

取付けの悪い（ガタツキのある）コンセントや差込み口（刃受）のゆるいコンセントは、絶対に使用しないでください。感電や発熱の恐れがあります。



延長コードやテーブルタップ、ソケットなどは絶対に使わない

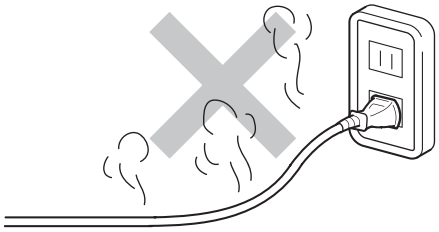
コンセントや電源プラグ／電源コードが異常発熱し、発火する恐れがあります。



【電源プラグ／電源コードについて】

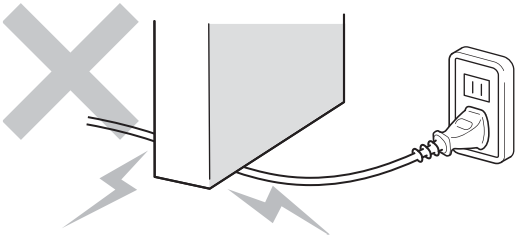
電源プラグ／電源コードが異常発熱している場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

ヒーターの運転中に、電源プラグ／電源コードが異常に熱くなる場合は、直ちに電力切替えダイヤルで電源を切り（＝運転中止）、お求めの販売店または弊社サービスセンター（13 ページ参照）に、ご相談ください。そのまま使用すると、
ショートや発火する恐れがあります。



電源プラグ／電源コードを破損するようなことはしない

電源プラグ／電源コードは、大切に扱ってください。無理に曲げたり、物を載せたり、束ねたり、傷をつけないでください。傷んだまま使用すると、感電やショート、発火などの原因になります。

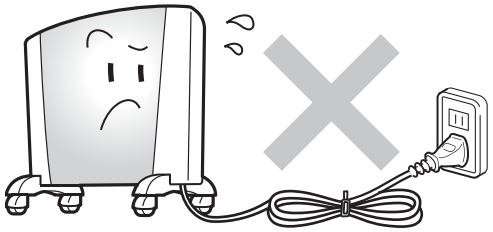


動作中に電源プラグを抜き差ししない

ヒーターの運転中に、電源プラグの抜き差しをしないでください。感電・火災の原因になります。

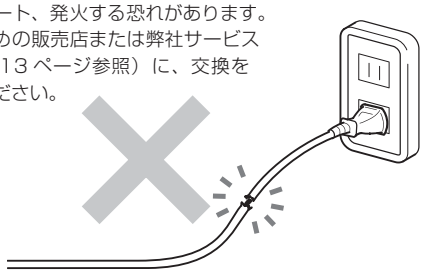
運転の際に電源コードが余っても束ねない

熱の逃げ場が無くなって高温になり、発火する恐れがあります。



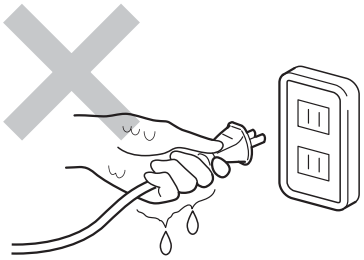
変形・破損している電源プラグ／電源コードは絶対に使わない

感電やショート、発火する恐れがあります。
必ず、お求めの販売店または弊社サービスセンター（13 ページ参照）に、交換を依頼してください。



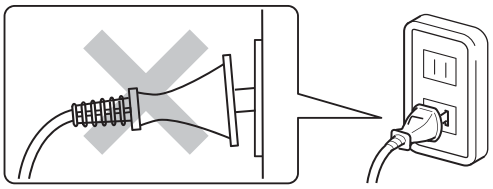
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電する恐れがあります。



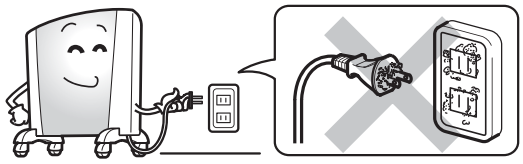
電源プラグは、根元までしっかりと差し込む

不完全な接続は、感電や発熱による火災の原因になります。



電源プラグやコンセントに付着しているホコリやゴミは、定期的に取り除く

ホコリやゴミが湿気を帯びると、ショートや漏電、発火などの原因になります。

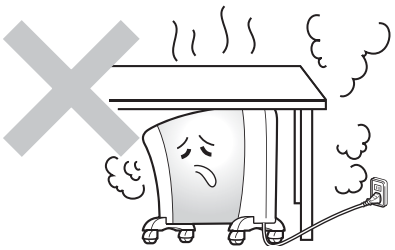


警告

【設置場所について】

テーブルや机の下で使わない

ヒーターの上部は、燃え易いものから約 1m 以上の距離を取ってください。ヒーターの上部をふさぐと、空気の対流ができず高温となり、火災やヤケド、故障などの原因になります。また、ヒーターの熱で電源コード／電源プラグやコンセントが変形・変質し、出火する恐れがあります。



【使用中／使用後について】

逆さまや横倒し、立てかけて使わない

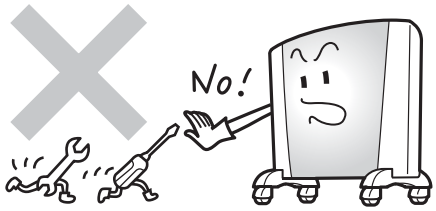
火災や故障などの恐れがあり、危険です。

スプレー缶などを本体の近くに置かない

スプレー缶が破裂し、火災の原因になります。

本製品を分解したり、改造をしない

故障や発火の恐れがあります。



お子様だけでは使わせない。幼児の手の届くところで使わない

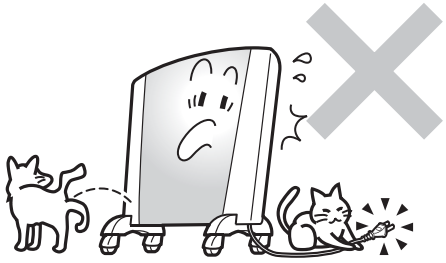
ヤケド・感電・ケガの原因になります。

カーテンなど燃え易いものの近くで使用しない

カーテンなどが本体を覆ってしまうと、過熱により火災の恐れがあります。

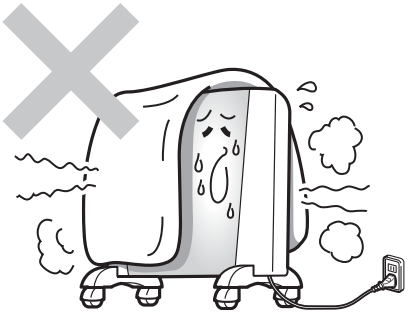
猫や犬など、ペットの暖房に使わない

ペットが本体や電源プラグ／電源コードなどを傷め、発火や故障の原因になります。



本体をふとんなどで覆わない

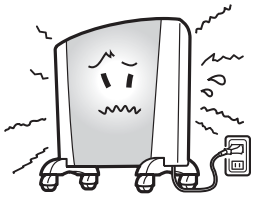
本体を覆うように布団や毛布などをかけたり、濡れたもの（洗濯物など）の乾燥に利用しないでください。過熱により、火災や故障などの恐れがあります。



【運転中について】

異常が生じた場合は、使用を中止する

万一、異常が生じた場合は、直ちに電源を切り（＝運転中止）、電源プラグをコンセントから抜いてください。異常な状態で使い続けると、事故や故障につながります。必ず、お求めの販売店または弊社サービスセンター（13ページ参照）までご連絡ください。



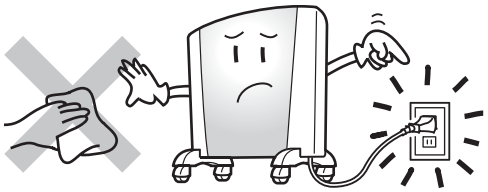
ヒーターに寄りかからない

ヒーターを踏み台にしたり、腰をかけたり、寄りかかったりしないでください。ヤケド・感電・ケガの原因になります。

【お手入れについて】

本体のお手入れは電源プラグをコンセントから抜き、冷えてから行う

ヤケド・感電・ケガの原因になります。

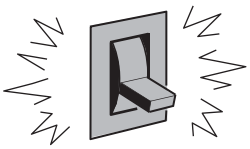


⚠注意

【電源について】

ブレーカーが落ちる場合には、電力会社に連絡する

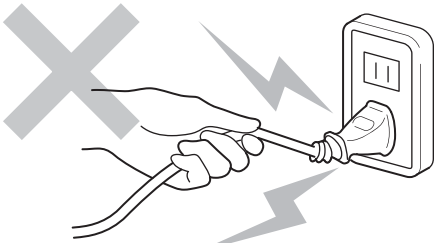
ヒーターを運転中にブレーカー（分電盤内の回路遮断器）が落ちる場合には、お近くの電力会社にご相談ください。
詳しくは、6 ページ「知っておいていただきたいこと」を参照してください。



【電源プラグ／電源コードについて】

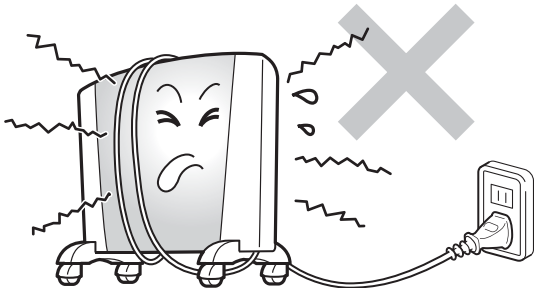
電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、必ず電源プラグを持って抜く

電源コードを無理に引っ張ると、破損する恐れがあります。



運転中は、電源コードを本体に触れさせない

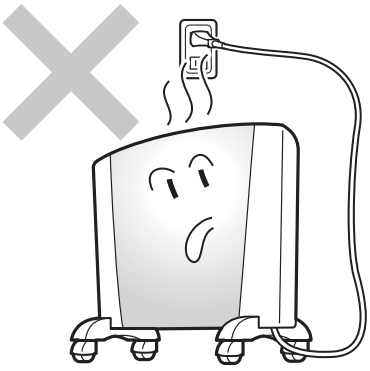
熱で電源コードが傷み、感電やショートの原因になります。



【設置場所について】

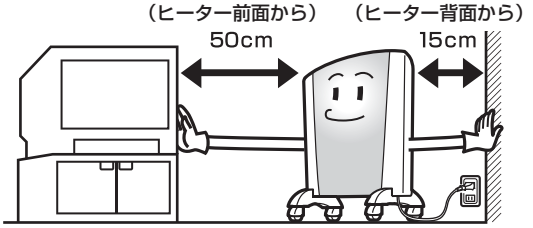
電源をとるコンセントのすぐ下で使わない

暖気で電源コード／電源プラグが変形・変質し、故障などの原因になります。



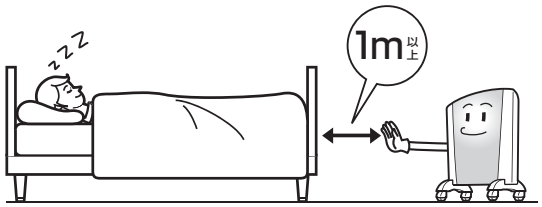
壁やカーテンなどから離して設置する

ヒーター背面と壁の間は 15cm 以上離してお使いください。
また、ヒーター前面と家具、他の電気製品、壁、カーテンの間は 50cm 以上離すようにしてください。材質によっては、ヒーターの熱で変色／変質する恐れがあります。



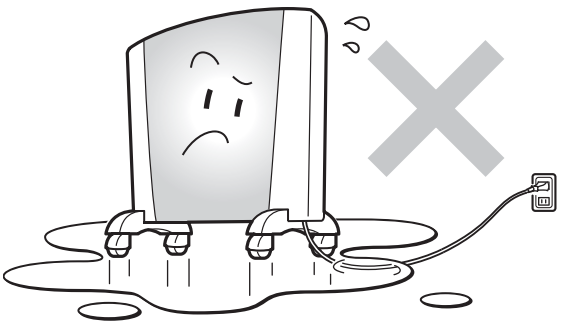
人や家具などからは、1m以上離す

ヒーターを寝室でご使用になる場合、寝起き時の転倒事故防止、寝具への接近を考慮して約１m以上の距離を取ってください。



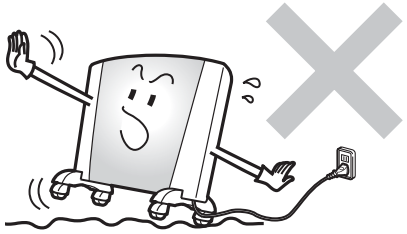
屋外や水／湿気の多い場所（部屋）、浴室で使わない

ショートや感電の恐れがあります。また、硫化ガスが発生する場所（温泉地の脱衣所など）や塩害の恐れがある場所で使用しないでください。故障の原因となります。



毛足の長い絨毯や凸凹のある床は避け、平らな床に置く

ヒーターが倒れるとケガや事故の恐れがあります。



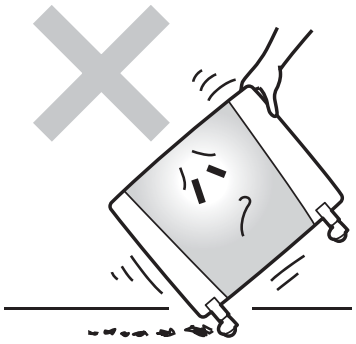
⚠注意

【使用中／使用後について】

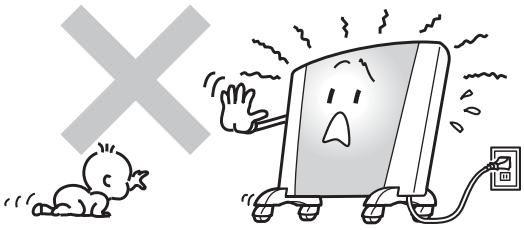
使用時は必ずキャスターを取り付ける
付属のキャスターを、必ず本体底面の両端に取り付けてください。（次頁参照）

本体が転倒・落下したときには、使用せず、点検を依頼する
感電･火災･ケガの恐れがあります。万一、本体が転倒･落下してしまった場合は、直ちに電源を切り（＝運転中止）、お求めの販売店または弊社サービスセンター（13ページ参照）までご連絡ください。

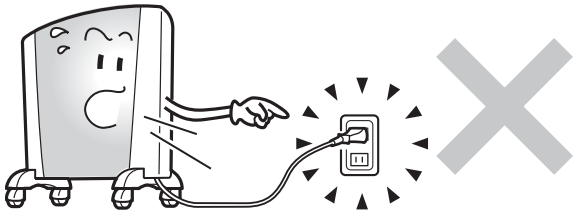
ヒーターの移動は、必ず本体が冷えてから行う
床面が傷付く場合がありますので、必ずキャスターを床面に付けてゆっくり移動するか、取っ手に指を入れ、本体を持ち上げて移動してください。



小さなお子様が近くにいるときは、必ず付き添う
運転中および運転していないときも、お子様がヒーターのそばにいるときは大人の方が付き添ってください。特にキャスター等に触れさせないようにご注意ください。

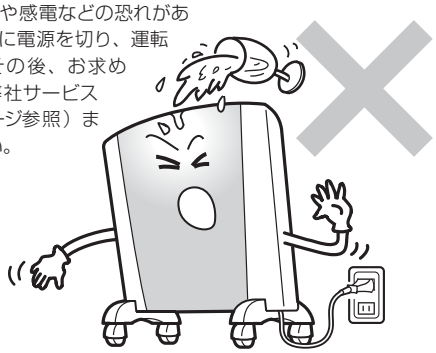


長期間使用しない場合は、必ず電源プラグを抜く
誤って、電源が入る恐れがあります。収納・保管する際はデロンギ・エコカバーでホコリを防いでください。（9ページ参照）

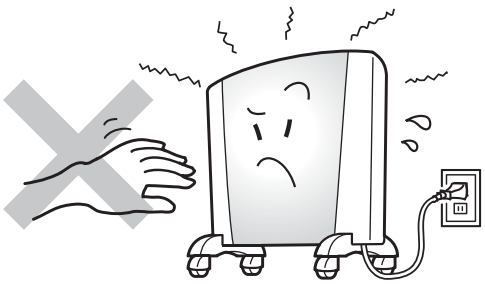


【運転中について】

本体や操作部に水やジュースをこぼさない
本体や操作部（電力切替えダイヤル、サーモスタット）に、水やジュース（液体）などをこぼさないでください。万一、こぼしてしまった場合は、ショートや感電などの恐れがありますので、直ちに電源を切り、運転を中止します。その後、お求めの販売店または弊社サービスセンター（13ページ参照）までご連絡ください。

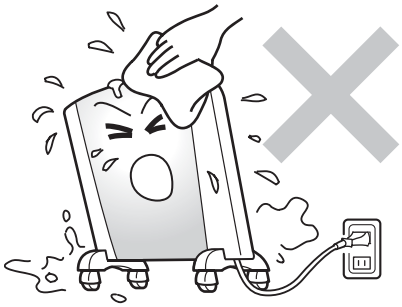


運転中および停止直後は、本体表面に触れない
表面は高温になりますので触れないでください。ヤケドをする恐れがあります。

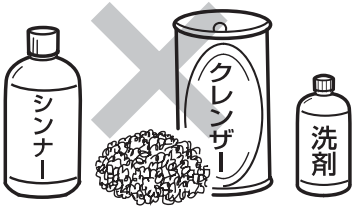


【お手入れについて】

絶対に水に浸したり、水洗いをしない



洗剤やクレンザー、シンナー、金たわしなどは使わない



知っておいていただきたいこと

定格電流について

本製品の定格電流は、9A（アンペア）です。ご家庭内で使用中の他の電気器具（複数）の定格電流との合計値が、**契約電力**（電気料金の請求書「基本契約欄」に 00A と記載）**を超えていないかどうか**確認してください。なお、定格電流の算出方法は、以下の通りです。

$$\text{定格電流（A）} = \frac{\text{消費電力（W）}}{\text{100（V: 電圧）}}$$

ブレーカーについて

ブレーカー（分電盤内にある回路遮断器）は、その回路で電気を使い過ぎた時や何らかの原因で瞬時に大電流が流れた場合に自動的に電気を断ち、回路を守ります。**契約電力が不足している場合や、足りていても、その回路の容量を超えて複数の電気器具を使用すれば、ブレーカーが働き（＝落ち）ます。**
※契約電力が不足している場合には、電力会社に増量を依頼してください。

電気代（目安）について

1時間当りの電気代（目安）は、暖房する部屋の諸条件（断熱および密閉性能など）により異なってきますが、おおよそ右記の通りです。（1kW/h ＝ 22 円として算出した場合）

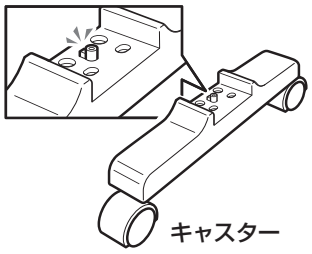
電源を入れてから30分から1時間（電力レベル=MAX）	部屋が適温に達した後サーモスタットで調節（ヒーター稼働率:60%の場合）
約20円/時間	約12円/時間

キャスターの取り付け方

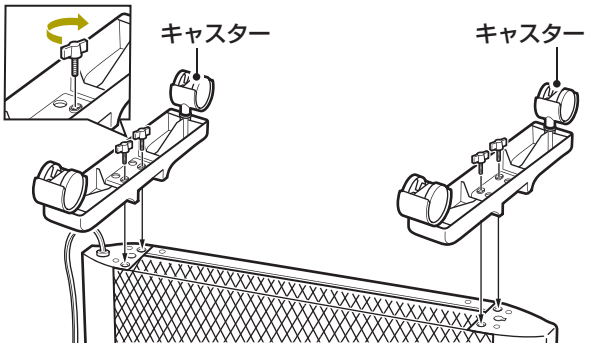
キャスターは取り付ける方向が決まっています。

①ヒーター本体を仰向け（底面を上）にします。
※本体が倒れやすいので、片手でしっかりとささえてください。
※床に直接置かず、タオルなどの柔らかいものを敷いてその上に置いてください。
床材によっては床面が傷つく恐れがあります。

②キャスターをヒーター本体底面の両端に取り付けます。
キャスターは取り付ける方向が決まっています。キャスターの突起とヒーター本体底面の孔を合わせ、奥までしっかりとはめ込んでください。



③キャスターを２つとも、固定用ネジでしっかりと固定します。
キャスターには４つの穴があいています。
楕円形の穴２つに固定用ネジを差し込んで、しっかりと固定してください。

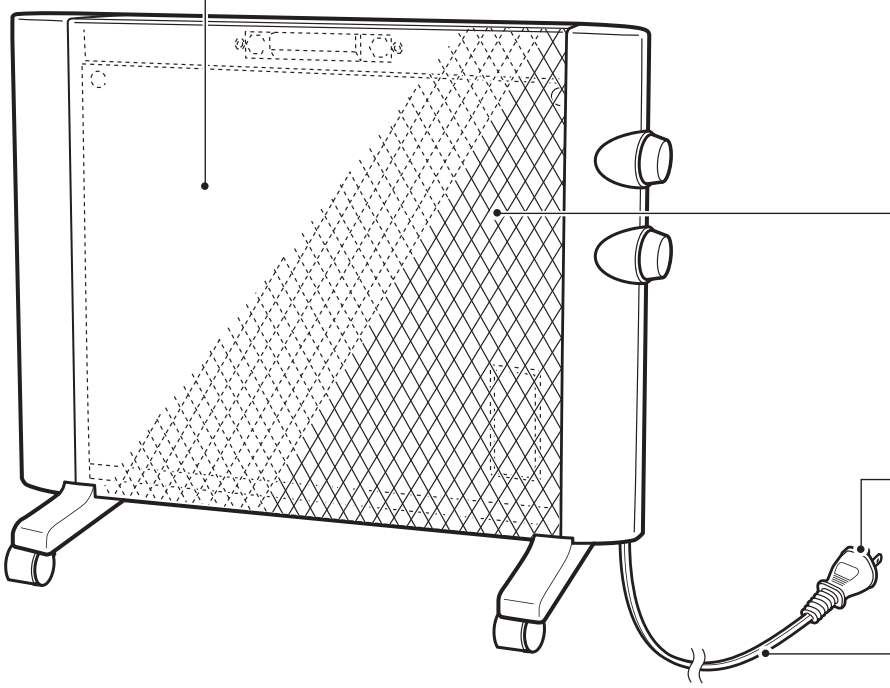


④本体をゆっくり起こし、取り付け完了です。

注 意 ヒーターの転倒や事故を防ぐため、必ずキャスターを本体底面の両端に取り付けてください。

各部の名称とはたらき

前面



放熱板（電熱部）
面状のヒーターをマイカ（雲母）で絶縁し、効率よく放熱を行ない室内を暖めます。

保護ネット
運転中、保護ネットの表面は高温になりますので注意してください。

電源プラグ

電源コード

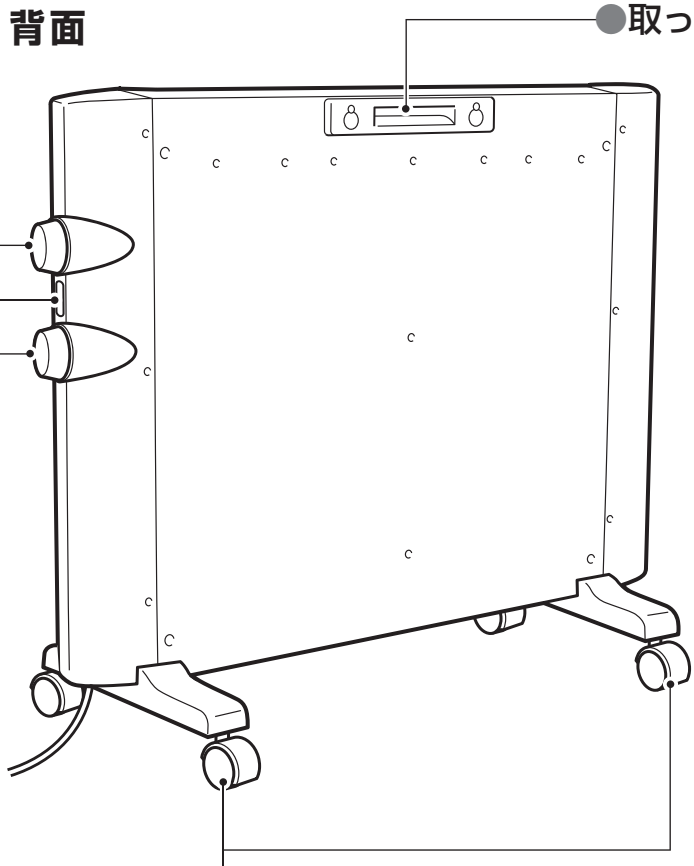
操作部

電力切替えダイヤル
電源スイッチを兼ねたダイヤルで、ダイヤルを回して「MIN（弱：450W)」または「MAX（強：900W)」に合わせると電源が入ります。
「OFF」に合わせると電源が切れます。

パイロットランプ
電力切替えダイヤルを回して電源を入れると点灯します。サーモスタットの設定により消点灯（電源の ON/OFF）を繰り返します。

サーモスタットダイヤル
室温（＝適温）の設定に使用します。設定後はヒーターの運転を自動制御し、適温を一定に保ちます。ダイヤルを上（時計回り）に回す（数字が大きくなる）ほど温度が高くなります。

背面



取っ手

キャスター（取り付け式）
6ページを参照して、取り付けてください。

ヒーターを移動する際のご注意
床面が傷付く場合がありますので、キャスターを床面に付けてゆっくり移動するか、取っ手に指を入れ、本体を持ち上げて移動してください。

付属品：キャスター（2 個）、固定用ネジ（4 本）、デロンギ・エコカバー

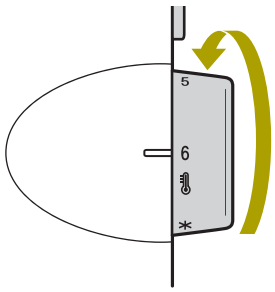
操作手順

❶ 電源プラグをコンセントに差し込む

電源プラグを**壁面コンセント**に直接差し込みます。根元までしっかりと入れてください。

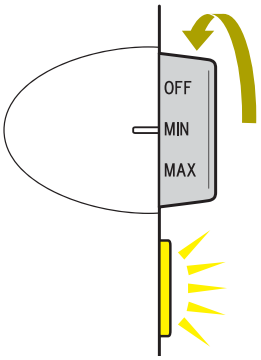
延長コードは絶対に使用しないでください。

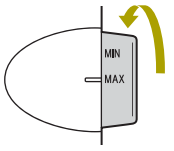
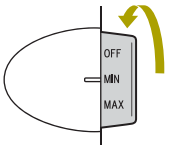
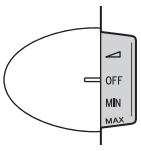
❷ サーモスタットダイヤルを最大にセットする



サーモスタットダイヤルを上（時計回り）に回して「6」に合わせ、出力レベルを最大にセットします。

❸ 暖房運転を開始する（電源を入れる）

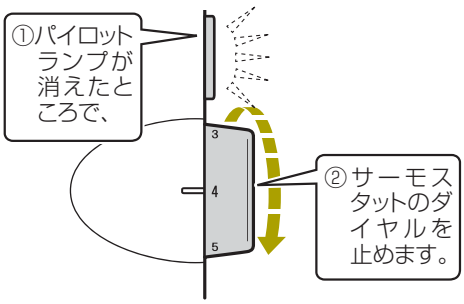


「MAX」電源オン（強：900W）	「MIN」電源オン（弱：450W）	「OFF」電源オフ
		

電力切替えダイヤルを回して、ご希望の電力レベル（上図表を参照）に設定します。電源が入るとパイロットランプが点灯し、暖房運転が始まります。お部屋を早く暖めたい場合は、電力レベルを「MAX」に設定してください。

ヒント 電力切替えダイヤルを「MAX」ではなく、「MIN」に設定することにより、エネルギーの消費を抑えることができます。ご使用時の外気温やお部屋の広さ、断熱性能に応じて使い分けてください。

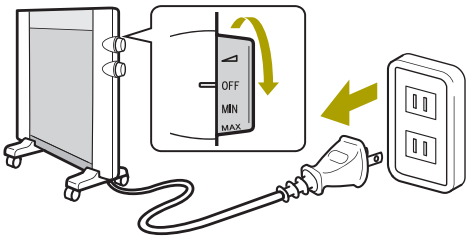
❹ サーモスタットダイヤルを設定する



お望みの温度（＝適温）に達したら、サーモスタットダイヤルを下（反時計回り）にパイロットランプの消えるところまで回して止めます。これで適温が設定され、後は自動的に電源の ON/OFF を繰り返しながら適温を保ちます。（→パイロットランプも消点灯を繰り返す）

▶適温を上げるときは、上（時計回り）に回し、下げるときは下（反時計回り）に回します。

❺ 暖房運転を停止する（電源を切る）

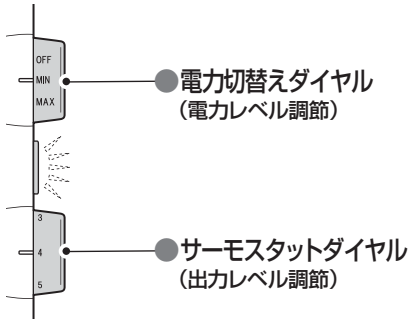


電力切替えダイヤルを回して「OFF」（電源オフ）に設定し（パイロットランプ消灯）、電源プラグをコンセントから抜きます。

高温注意：本体は、停止後もしばらくは熱いので、触れないでください。

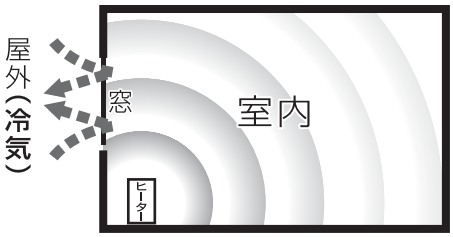
ヒーターの上手な使い方

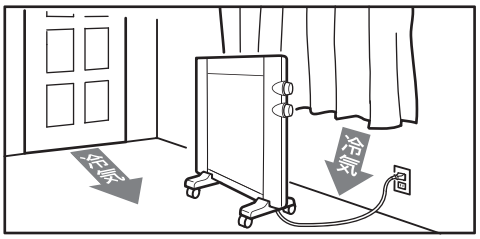
節電対策



サーモスタットダイヤルと電力切替えダイヤルの両方を上手に活用することで、ムダな暖め過ぎを防ぎます。お部屋が暖まったら、「出力レベル」および「電力レベル」を下げるようにしてください。

効果的な設置場所





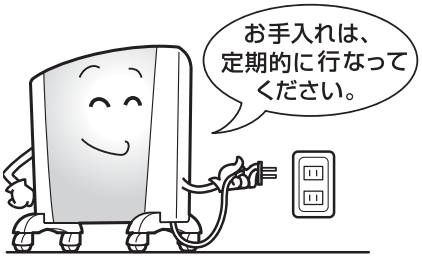
室内で、窓の下や外気に触れている壁際などに設置してください。また、窓に厚手のカーテンをしたり、ドアの開閉頻度を減らすなどの工夫をすることで、より効果的な暖房が得られます。（注意：ヒーターにカーテンが覆いかぶさらないようにしてください。）

お手入れ／保管のしかた

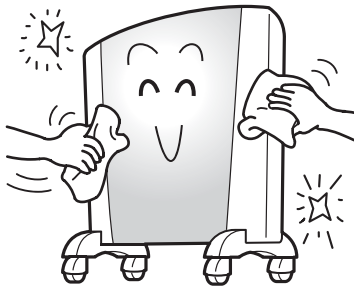
お手入れや保管をする場合には、必ず事前に電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷えてから行なってください。

水洗いできません。また、洗剤やクレンザー、シンナーやベンジン、金たわしなどは、使用しないでください。

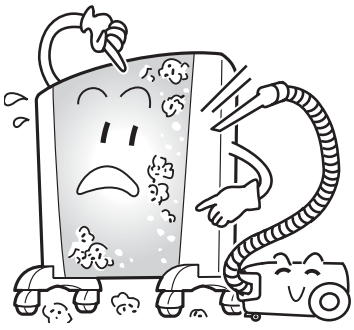
保管する際は、必ず事前にお手入れをし、逆立てたり、横倒しにしたり、上に物を置かないでください。



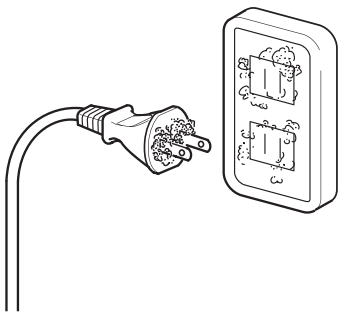
●本体は乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、布にお湯を含ませ、固く絞ってから拭いてください。



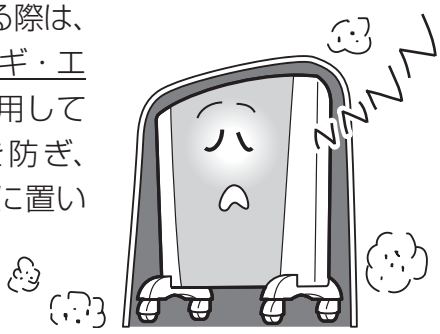
●本体および壁と床とのすき間に溜っているゴミやホコリは、掃除機などで必ず取り除いてください。



●壁面コンセント（刃受）および電源プラグ（栓刃）に付着しているゴミやホコリは、掃除機などで必ず取り除いてください。



●収納／保管する際は、付属のデロンギ・エコカバーを使用してホコリなどを防ぎ、乾燥した場所に置いてください。



これは故障ではありません

初期使用時の臭いについて

最初は、新製品特有の臭いを感じることがあります。これは、ヒーターの耐熱塗装が熱になじむまでのことで、機能や安全性に問題はありません。数日ご使用いただきますと、臭いは次第におさまります。

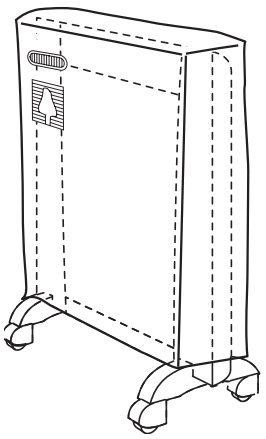
操作部の青白い光

周囲が暗いと、サーモスタットがある操作部内に青白い光が見えることがあります。これはサーモスタットが、自動的に電源を ON ／ OFF する際のもので、故障ではありません。

デロンギ・エコカバーの使い方

1〉**ホコリよけのカバーとして**：シーズンオフには、収納／保管用カバーとしてご利用ください。

2〉**ご不用時／回収（再資源化）ご依頼時の梱包材として**:デロンギヒーターには、環境に有害な原材料・重金属が含まれておりません。
弊社では素材ごとに分別し、再資源化を行っております。
下記の要領に従い、弊社サービスセンター（13ページ参照）までお送りください。
※お送り先については、事前にお電話、あるいはホームページ（13ページ参照）にてご確認ください。



※デロンギ･エコカバーは、無漂白の綿 100%で出来ています。

送料について▶ 再資源化の費用は弊社が負担いたしますが、送料はお客様のご負担（元払い）となりますので、予めご了承ください。

梱包について▶ **ご不用になったデロンギヒーターは、付属のデロンギ・エコカバーに包んでお送りください。**なお、デロンギ・エコカバー以外のもので梱包／返送される場合は、再資源化の費用が有料になることがあります。また、修理や点検と区別するため、外箱または送り状に、**必ず「再資源化」と明記してください。**

この製品は欧州RoHS指令に適合した製品です。

欧州RoHS指令とは、「電気･電子機器の特定有害物質の使用制限」を規定した欧州連合(EU)による指令です。
この製品は、鉛及びその化合物、水銀及びその化合物、六価クロム化合物、カドミウム及びその化合物、ポリブロモビフェニル（ＰＢＢ)、ポリブロモジフェニルエーテル（ＰＢＤＥ）の含有率が、いずれも含有率基準値以下であり、環境に配慮して製造されました。

RoHS

故障かな？

使用中に異常が生じた場合は、直ちに電力切替えダイヤルを回して「OFF」に設定して電源を切り（＝運転を中止し）、

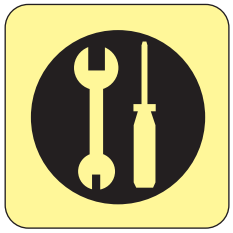
症　状（状態）	予想される原因	対処のしかた
電力切替えダイヤルを回してもパイロットランプは点灯せず、ヒーターも暖かくならない	電源プラグが、コンセントに差し込まれていない	電源プラグ（栓刃）を、根元までしっかりとコンセントに差し込みます。
	サーモスタットの出力レベルが低い	サーモスタットダイヤルを、パイロットランプが点灯するまで上（時計回り）に回します。お望みの温度（適温：体感温度）になったら、ダイヤルをゆっくりと下（反時計回り）に回し、パイロットランプが消えたところで止めます。
		サーモスタットダイヤルの目盛を今より大きい数字に合わせます。
	本体が布団やカーテンなどで覆われている	本体を布団やカーテンなどで覆わないでください。本体が異常過熱すると、安全装置が作動し、電源が自動的に切れます。 万一、安全装置が作動した場合は、電力切替えダイヤルを回して電源を切ってから電源プラグをコンセントから抜き、本体を冷ましてください。 その後、通常の使用手順にしたがって暖房運転を再開してください。 少しでも気になる点がございましたら、弊社サービスセンター（13 ページ参照）にご連絡ください。
電力切替えダイヤルを回すと、パイロットランプは点灯しないがヒーターは暖かくなる	パイロットランプが故障している可能性あり	お求めの販売店または弊社サービスセンター（13 ページ参照）にご連絡ください。
長時間使用しても、一度もパイロットランプが消えない	サーモスタットが故障している可能性あり	サーモスタットダイヤルを、パイロットランプが消えるまで下（反時計回り）に回してみます。止まるまで回してもパイロットランプが消えない場合は、お求めの販売店または弊社サービスセンター（13 ページ参照）にご連絡ください。
使用中、電源プラグ／電源コードが異常に熱くなる **（目安：約 40℃）**	延長コードを使ったり、タコ足配線をしている	延長コードやタコ足配線を止め、電源プラグを定格 15A の壁面コンセントに直接差し込みます。
	電源プラグ（栓刃）を、根元までコンセントに差し込んでいない	電源プラグ（栓刃）を、根元までしっかりと差し込みます。不完全な接続は、感電や発熱の恐れがあります。

修理を依頼される前に、以下の点をお調べください。

以下の点をお調べください。なお、修理のご依頼は13 ページ「アフターサービス」を参照してください。

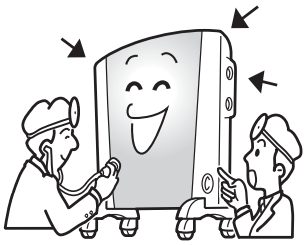
症　状（状態）	予想される原因	対処のしかた
使用中、電源プラグ／電源コードが異常に熱くなる **（目安：約 40℃）**	差込み口（刃受）が２つあるコンセントで、両方の差込み口を使用している	差込み口（刃受）が２つある壁面コンセントを使用する際は、必ず、片方の差込み口を空けてください。
	コンセントがガタついたり、差込み口（刃受）がゆるい	お近くの電気店に、コンセントの修理を依頼してください。コンセントが老朽化している場合があります。
	電源プラグ／電源コードが傷付いたり、変形・破損している	お求めの販売店または弊社サービスセンター（13 ページ参照）に、修理・交換を依頼してください。
	電源コードの上に物を置いたり、無理に曲げている	電気の流れる道が半断状態になると、ショートや発火の恐れがあるので、絶対に止めてください。
	電源コードを束ねた状態で使用している	電源コードは、必ず伸ばした状態で使用してください。束ねると、熱の逃げ場を失って高温になり、発火の恐れがあります。
	電源プラグやコンセントに、ゴミやホコリが付着している	定期的に、付着しているゴミやホコリを取り除いてください。
部屋が暖まらない **※暖房する部屋の諸条件（断熱材や位置など）によって異なります**	サーモスタットの出力レベルが低い	サーモスタットダイヤルを上（時計回り）に止まるまで回し、出力レベルを最大にしてください。
	ヒーターを、ドア（出入口）付近に置いて使用している	ヒーターの暖気が逃げてしまうので、ドア（出入口）から離した場所に置いて使用してください。また、窓近くで発生するダウンドラフト（冷気の侵入）を防ぐには、窓下付近に置いて使用するのが効果的です。

まごころ点検について



長年ご使用のヒーターは、点検をお薦めします。

保証期間（3 年）が過ぎて、少しでも気になる点がございましたら、安全のために専門技術者による点検（お預り）をお薦めします。
点検の依頼および料金等につきましては、弊社サービスセンター（下記参照）までお問い合わせください。



アフターサービス

1〉使用中に異常（★）が生じた場合は、直ちに電力切替えダイヤルで電源を切り（＝運転中止）、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、11 ～ 12 ページ「故障かな？」で調べても正常に機能しない場合は、お求めの販売店または弊社サービスセンター（下記参照）にご相談ください。

〈★以下のような場合には、点検および修理が必要です〉

- **使用中、電源コードおよび電源プラグ、コンセントが異常に熱くなる**
- **本体や操作部に、水やジュース（液体）などをこぼした**
- **電源コード、電源プラグが変形／破損している**
- **本体に、強い衝撃（転倒・落下）を与えた**
- **取扱説明書どおりに使用しているのに、正常に機能しない**

2〉万一故障した場合は、保証書に記載されている販売店に**①お求めの時期 ②製品名称と型式番号③故障の状況**――を連絡のうえ、修理を依頼してください。
※宅配便等を利用して弊社サービスセンター（下記参照）に直送される場合は、必ず故障の状況を記したメモを同封くださるようお願いします。
※お送り先については、事前にお電話、あるいはホームページ（下記参照）にてご確認ください。

3〉保証期間中（3 年）は、保証書に記載されているものについては無償で修理いたします。ただし、使用上の注意を無視しての故障や規格外に改造したものなどは、その限りではありません。また、保証期間を過ぎたものについては、有償で修理いたします。

4〉補修用性能部品の保有期間について
弊社では、このヒーターの補修用性能部品について、最終輸入日を起点に 6 年間保有しております。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

以上、アフターサービスについてご不明の点がございましたら、お求めの販売店または弊社サービスセンター（下記参照）までお問い合わせください。

デロンギ・ジャパン サービスセンター（受付時間▶土、日、祝日を除く毎日 9:30～17:00）

コールセンター Tel.0120-804-280 ／ Fax.045-450-3291

〒221-0022　神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-9　安田倉庫（株）内4号ビル

ホームページでのお問い合わせ（URL）―― **http://support.delonghi.co.jp**

仕 様

製品名称		デロンギ マイカパネルヒーター
型式番号		HMP900J
適用畳数		2～6畳
定格	電圧／周波数	交流 100V／50/60Hz
	消費電力	450W・900 W
外形寸法／質量(※)		幅 69.5cm ×奥行 26.5cm ×高さ 56.5cm ／ 4.6kg
安全装置		転倒時自動電源遮断装置・温度過昇防止装置
付属品		デロンギ・エコカバー、キャスター× 2、固定用ネジ ×4

※外形寸法および質量の各数値は、キャスターを取り付けた状態のものです。

DHI-110165

Living innovation

デロンギ・ジャパン株式会社

〒101-0044　東京都千代田区鍛冶町1-5-6　第3大東ビル

www.delonghi.co.jp イタリアのライフスタイル情報満載！会員登録でプレゼントのチャンスも！

5711210101/06.11